

2025 年 5 月 25 日

(朝 10:30-11:30)

聖 日 礼 拝

司会 城尾マコト

前 奏	全員黙祷 「新聖歌 23 番」	ヒムプレーヤー
招 詞	マタイ 6 章 31～33 節(新 9 頁)	司会者
頌 栄	「新聖歌 60 番」	ヒムプレーヤー
主の祈り	(プログラムに印刷)	全 員
使徒信条	(プログラムに印刷)	全 員
交読文	新改訳 15 番 詩篇 40 篇 890 頁	司会者・全 員
聖 書	出エジプト 15 章 22～25 節	司会者
讃美歌	新聖歌 206 飼い主わが主よ	ヒムプレーヤー
祈 祷	司会者による祈り	
	子供達の祝福の為の賛美 484 番	ヒムプレーヤー
讃美歌	新聖歌 396 慕いまつる主の	ヒムプレーヤー
メッセージ	「信じて休みなさい」	城尾淳一
讃美歌	新聖歌 438 悩む世人のために 証とお知らせの時間	ヒムプレーヤー
献 金	新聖歌 55 番	
頌 栄	新聖歌 63 番	
祝 祷		城尾マコト牧師
後 奏	全員黙祷 新聖歌 59 番	



Youtube



Facebook



HomePage

信じて休みなさい

イスラエルの民が紅海を渡ってエジプトから解放されたとき、彼らは主の偉大な御業を見て神様とモーセを信じ、感謝の歌をささげました。女預言者ミリアムも、タンバリンを手に女性たちを導いて神様を賛美しました。神様が海を割って民を救われた奇跡は、民の信仰の大きな礎となりました。

しかしその直後、荒野で水が見つからず、ようやく見つけた水も苦くて飲めなかったとき、民はまたたく間に不平を言い始めました。神様はその苦い水を木の枝を通して甘くし、さらに律法を与えて「わたしに聞き従うなら病を与えない」と告げられました。

続く 16 章では、民は食べ物がないと再び不平を漏らします。神様は天からパンを降らせ、夕にはうずら、朝にはマナを与えられました。マナは「これは何だろう?」という意味の「マーン・フー」から名づけられたとされ、白くて甘いパンのようなものでした。民はこれを日ごとに必要な分だけ集め、七日目には安息のために六日目に二倍集めるよう命じられました。他の日に残すと腐ったマナが、安息日前の分だけは腐らず残ったのです。

この日々のマナと週ごとの安息日は、神様が「主を信じて歩むこと」「信頼して休むこと」を教えるための信仰訓練でした。マナは毎日の恵みの象徴であり、安息日は自分の力で生きるのではなく、神に信頼して手を止める信仰の象徴です。

イスラエルの民が約束の地カナンにたどり着くまでにかかったのは 40 年。しかし、距離的には 1～2 か月で行ける道のりでした。神様はこの時間を、民の心を整える「信仰のリハビリ期間」として与えられたのです。奴隷生活の名残をぬぐい去り、神の民として生きるために、日々の信頼と従順を学ばせる期間でした。

神様は、今日も私たち一人ひとりに必要なマナを備えてくださり、信仰の歩みを整えてくださいます。私たちも、今という日を感謝し、週ごとに安息を覚え、「主を信じて休む」ことを学びつつ、主に従う歩みを続けてまいりましょう。

城尾淳一